



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日  
上場取引所 東

上場会社名 三洋化成工業株式会社  
コード番号 4471 URL <https://www.sanyo-chemical.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 章憲  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員事務本部長 (氏名) 西村 健一 TEL 075-541-4312  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	122,132	△9.0	4,217	△35.0	6,884	△22.6	2,980	△52.6
2023年3月期第3四半期	134,183	11.0	6,487	△32.4	8,899	△21.8	6,284	△16.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,892百万円 (△40.7%) 2023年3月期第3四半期 6,557百万円 (△17.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	135.00	-
2023年3月期第3四半期	284.77	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	206,139	148,870	71.0	6,630.41
2023年3月期	202,182	148,994	72.2	6,617.11

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 146,439百万円 2023年3月期 146,067百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	85.00	-	85.00	170.00
2024年3月期	-	85.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	△8.6	5,000	△38.5	6,500	△34.5	5,000	△12.0	226.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	23,534,752株	2023年3月期	23,534,752株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,448,705株	2023年3月期	1,460,503株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	22,080,516株	2023年3月期3Q	22,067,412株

(注) 取締役等を受益者とする信託が保有する当社の株式は期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 財政状態及び経営成績の状況 .....	2
(2) キャッシュ・フローの状況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(四半期連結損益計算書関係) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
3. 補足情報 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことで、経済活動は正常化に向かい、個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られましたが、世界的な設備投資意欲の減退など依然として厳しい状況となりました。世界経済は、金融引き締め等が続く中、米国景気は底堅い一方、欧州は景気減速傾向にあり、また中国は輸出の低迷や不動産市況悪化の影響等により景気回復が遅れております。加えて、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東地域をめぐる情勢の悪化による資源エネルギー価格の高止まり・物価上昇など、先行き不透明な状況にあります。

化学業界におきましては、為替相場は米欧の長期的な金融引き締め観測から円安方向に推移しておりましたが、米国のインフレ率の鈍化や日銀による金融政策正常化への期待が高まったことなどから、当四半期後半にかけて円が反発しており、また原油価格は世界的な景気の鈍化と供給不安から価格上昇下落双方の思惑が交錯するなど、事業環境は予断を許さない状況にあります。

このような環境下における当第3四半期連結累計期間の売上高は、販売量の減少などにより1,221億3千2百万円(前年同期比9.0%減)となりました。利益面では、販売量の減少などにより営業利益は42億1千7百万円(前年同期比35.0%減)、経常利益は68億8千4百万円(前年同期比22.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億8千万円(前年同期比52.6%減)となりました。

## ① 全体の状況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	134,183	122,132	△12,051	△9.0%	174,973
営業利益	6,487	4,217	△2,269	△35.0%	8,123
経常利益	8,899	6,884	△2,015	△22.6%	9,918
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	6,284	2,980	△3,303	△52.6%	5,684
1株当たり四半期(当期)純利益	284.77円	135.00円	△149.77円	△52.6%	257.57円
ROA(総資産経常利益率)	5.7%	4.5%	—	△1.2ポイント	4.9%
ROE(自己資本当期純利益率)	5.7%	2.7%	—	△3.0ポイント	3.9%
為替(\$、元)	\$=¥136.52	\$=¥143.33		¥6.81	\$=¥135.51
	元=¥19.88	元=¥19.98		¥0.10	元=¥19.75
ナフサ価格	80,000円/kl	68,200円/kl		△11,800円/kl	76,600円/kl

(注)四半期のROA及びROEは、年換算しております。

## ② セグメント別の概況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減		前連結会計年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活・健康	44,544	305	35,356	△1,111	△9,187	△1,417	57,068	23
石油・輸送機	36,444	2,346	38,719	2,142	2,275	△204	48,279	2,936
プラスチック・繊維	21,493	2,246	19,176	1,895	△2,316	△350	28,177	2,783
情報・電気電子	17,314	1,752	17,113	1,652	△201	△99	23,163	2,507
環境・住設	14,388	978	11,765	565	△2,622	△413	18,284	1,373

#### <生活・健康産業関連分野>

生活産業関連分野は、液体洗濯洗剤用界面活性剤及びポリエチレングリコールが国内外ともに市況が低迷し需要が減少したため、売上高は減少しました。

健康産業関連分野は、高吸水性樹脂が日本及びアジアで販売数量が減少し、売上高は大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は353億5千6百万円(前年同期比20.6%減)、営業損失は11億1千1百万円(前年同期は3億5百万円の営業利益)となりました。

#### <石油・輸送機産業関連分野>

石油・輸送機産業関連分野は、自動車生産回復により、自動車内装表皮材用ウレタンビーズ、潤滑油添加剤、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料が増加したため、売上高は好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は387億1千9百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は21億4千2百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

#### <プラスチック・繊維産業関連分野>

プラスチック産業関連分野は、永久帯電防止剤が電子部品需要低迷のため低調となり、塗料コーティング用薬剤・添加剤も中国向け需要が減少し売上高は減少しました。

繊維産業関連分野は、炭素繊維用薬剤が国内外ともに低調に推移し、またタイヤコード糸等の製造時に使用される油剤の需要回復が遅れており、売上高は低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は191億7千6百万円(前年同期比10.8%減)、営業利益は18億9千5百万円(前年同期比15.6%減)となりました。

#### <情報・電気電子産業関連分野>

情報産業関連分野は、トナー関連材料の需要が減少したものの、原料価格高騰等による価格改定により売上高は増加しました。

電気電子産業関連分野は、半導体市場の回復により関連材料の売り上げが増加しましたが、アルミ電解コンデンサ用電解液が低調に推移し売上高は減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は171億1千3百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は16億5千2百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

#### <環境・住設産業関連分野他>

環境産業関連分野は、高分子凝集剤用のカチオンモノマーの需要が低迷したため、売上高は低調に推移しました。

住設産業関連分野は、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料及び建築シーラント用原料の販売が減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は117億6千5百万円(前年同期比18.2%減)、営業利益は5億6千5百万円(前年同期比42.2%減)となりました。

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末に比べて39億5千6百万円増加し2,061億3千9百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて1億2千4百万円減少し1,488億7千万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末から1.2ポイント低下し71.0%となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末残高と比較し60億7千3百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末残高は231億1千5百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、143億6千6百万円(前年同期は100億5千1百万円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益50億1百万円、減価償却費81億4千5百万円、仕入債務の増加65億7千6百万円などによる資金の増加が、売上債権の増加33億6百万円、法人税等の支払額25億9千7百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、44億1千6百万円(前年同期は90億6千8百万円の減少)となりました。これは、固定資産の取得に55億1千5百万円を支出したことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、40億9千7百万円(前年同期は2億4千5百万円の減少)となりました。これは配当金の支払額37億4千7百万円などの資金の減少が、短期借入金の増加2億5千8百万円(純額)などの資金の増加を上回ったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は2023年11月10日に公表した予測数値を売上高、営業利益及び経常利益は上回って進捗しています。

親会社株主に帰属する当期純利益は本日(2024年2月5日)公表の「連結子会社における特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ」のとおり、当第3四半期連結会計期間において特別損失を計上したことから連結業績に対する進捗率は59.6%になっています。

連結業績予想については、上記特別損失の他の要因も含め現在精査中であるため、据え置いております。

なお、2023年11月10日に公表した連結業績予想に対する当第3四半期累計業績の進捗率は下表のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
連結業績予想 (進捗率(%))	160,000 (76.3)	5,000 (84.4)	6,500 (105.9)	5,000 (59.6)
前期実績(2023年3月期)	174,973	8,123	9,918	5,684

※業績予想は発表日時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,114	23,167
受取手形及び売掛金	45,326	49,174
電子記録債権	917	621
商品及び製品	20,123	18,942
半製品	4,986	5,659
仕掛品	5	39
原材料及び貯蔵品	7,233	6,439
その他	2,080	2,755
貸倒引当金	△464	△475
流動資産合計	97,324	106,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,306	18,027
機械装置及び運搬具（純額）	27,144	23,903
土地	8,879	8,900
建設仮勘定	1,435	1,405
その他（純額）	3,024	2,798
有形固定資産合計	59,791	55,034
無形固定資産		
ソフトウェア	1,170	6,669
その他	6,707	1,373
無形固定資産合計	7,877	8,042
投資その他の資産		
投資有価証券	27,575	27,631
長期貸付金	4,145	3,497
繰延税金資産	350	380
退職給付に係る資産	2,085	2,123
その他	3,064	3,136
貸倒引当金	△32	△31
投資その他の資産合計	37,188	36,737
固定資産合計	104,857	99,815
資産合計	202,182	206,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,555	26,437
電子記録債務	4,535	5,238
短期借入金	7,847	8,187
1年内返済予定の長期借入金	474	504
未払金	5,828	4,482
未払法人税等	1,321	883
賞与引当金	1,813	1,124
役員賞与引当金	88	60
営業外電子記録債務	732	604
その他	3,737	3,431
流動負債合計	46,938	50,955
固定負債		
長期借入金	1,909	1,855
繰延税金負債	2,772	2,880
株式報酬引当金	391	407
退職給付に係る負債	53	100
その他	1,123	1,069
固定負債合計	6,249	6,313
負債合計	53,187	57,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	13,270	13,270
利益剰余金	111,762	110,971
自己株式	△5,730	△5,674
株主資本合計	132,353	131,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,816	9,378
為替換算調整勘定	4,579	5,161
退職給付に係る調整累計額	317	281
その他の包括利益累計額合計	13,714	14,821
非支配株主持分	2,927	2,430
純資産合計	148,994	148,870
負債純資産合計	202,182	206,139



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	134,183	122,132
売上原価	109,291	99,625
売上総利益	24,892	22,506
販売費及び一般管理費	18,405	18,288
営業利益	6,487	4,217
営業外収益		
受取利息	134	126
受取配当金	737	931
不動産賃貸料	100	106
為替差益	1,090	1,328
持分法による投資利益	476	124
その他	147	442
営業外収益合計	2,687	3,060
営業外費用		
支払利息	84	108
不動産賃貸原価	53	52
その他	137	232
営業外費用合計	275	394
経常利益	8,899	6,884
特別利益		
投資有価証券売却益	955	2,030
受取保険金	14	—
特別利益合計	969	2,030
特別損失		
固定資産除却損	770	941
投資有価証券評価損	106	—
減損損失	—	※ 2,971
その他	21	—
特別損失合計	898	3,913
税金等調整前四半期純利益	8,970	5,001
法人税等	2,266	2,261
四半期純利益	6,704	2,739
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	420	△241
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,284	2,980

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	6,704	2,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	562
為替換算調整勘定	52	626
退職給付に係る調整額	△1	△36
その他の包括利益合計	△146	1,152
四半期包括利益	6,557	3,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,111	4,088
非支配株主に係る四半期包括利益	446	△196

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,970	5,001
減価償却費	7,623	8,145
固定資産除却損	770	941
減損損失	—	2,971
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△817	△694
退職給付に係る資産負債の増減額	△43	△46
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	△28
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	63	73
受取利息及び受取配当金	△872	△1,058
支払利息	84	108
持分法による投資損益 (△は益)	△476	△124
投資有価証券売却損益 (△は益)	△955	△2,030
投資有価証券評価損益 (△は益)	106	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,631	△3,306
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,583	1,685
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,391	6,576
その他	158	△3,088
小計	11,752	15,128
利息及び配当金の受取額	2,151	1,938
利息の支払額	△88	△102
法人税等の支払額	△3,764	△2,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,051	14,366
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△7,272	△5,515
投資有価証券の売却による収入	971	2,062
投資有価証券の取得による支出	△118	—
貸付金の回収による収入	340	584
貸付けによる支出	△608	△88
その他	△2,380	△1,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,068	△4,416
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,567	258
長期借入金の返済による支出	△700	△150
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2	△1
配当金の支払額	△3,738	△3,747
非支配株主への配当金の支払額	△225	△300
その他	△146	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245	△4,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	220
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	770	6,073
現金及び現金同等物の期首残高	18,171	17,042
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	333	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,276	23,115

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

表示方法の変更

従来、四半期連結損益計算書に独立掲記していた「営業外費用」の「棚卸資産廃棄損」は第1四半期連結会計期間より「売上原価」に含めて表示しております。

これは基幹システムの変更を契機に各事業の業績評価方法を見直したことによるものです。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「棚卸資産廃棄損」に表示していた169百万円を「売上原価」として組み替えております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類
サンヨーカセイ(タイランド)リミテッド タイ国バンコク市、ラヨン県	プラスチック・繊維産業関連製造設備等	機械装置、建物等

当社グループは原則として工場別に資産のグルーピングを実施しております。

営業から生じる損益が継続してマイナスであり、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。その内訳は建物及び構築物876百万円、機械装置及び運搬具1,286百万円、建設仮勘定697百万円及びその他110百万円であります。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローの見積額を12.5%で割り引いて算定しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関 連分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連 分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	44,544	36,444	21,493	17,314	14,388	134,183	—	134,183
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	97	97	△97	—
計	44,544	36,444	21,493	17,314	14,485	134,281	△97	134,183
セグメント利益	305	2,346	2,246	1,752	978	7,628	△1,141	6,487

(注1) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,141百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関 連分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連 分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	35,356	38,719	19,176	17,113	11,765	122,132	—	122,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	101	101	△101	—
計	35,356	38,719	19,176	17,113	11,867	122,233	△101	122,132
セグメント利益 又は損失(△)	△1,111	2,142	1,895	1,652	565	5,143	△925	4,217

(注1) セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用925百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費等であります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っております。

なお、表示方法の変更の内容については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (追加情報)」に記載しております。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の数値を用いて作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	生活・健康 産業関連分野	石油・輸送機 産業関連分野	プラスチック・ 繊維産業関連 分野	情報・電気電子 産業関連分野	環境・住設 産業関連分野他	合計
減損損失	36	4	2,893	36	0	2,971

## &lt;参考&gt;

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) (単位:百万円)

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	97,082	7,114	17,710	12,276	134,183	—	134,183
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,137	45	1,270	961	9,415	△9,415	—
計	104,220	7,159	18,980	13,238	143,599	△9,415	134,183
営業利益	5,577	217	225	496	6,517	△29	6,487

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) (単位:百万円)

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	87,679	7,608	18,682	8,161	122,132	—	122,132
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,694	31	1,679	773	10,179	△10,179	—
計	95,374	7,639	20,362	8,935	132,311	△10,179	122,132
営業利益(又は営業損失)	4,305	116	257	△558	4,121	96	4,217

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	45,546	(25,129)	8,310	4,542	58,398
II 連結売上高	—	(—)	—	—	134,183
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	33.9	(18.7)	6.2	3.4	43.5

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	41,348	(22,828)	8,747	3,780	53,875
II 連結売上高	—	(—)	—	—	122,132
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	33.9	(18.7)	7.2	3.1	44.1

- (注) 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。  
2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域  
(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他  
(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他  
(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中東 他

## 3. 補足情報

四半期ごとの連結業績推移

前連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計 2023年3月期
	(2022年4月～6月)	(2022年7月～9月)	(2022年10月～12月)	(2023年1月～3月)	
売上高	44,336	44,103	45,744	40,789	174,973
営業利益	1,910	1,897	2,679	1,636	8,123
経常利益	4,259	3,108	1,531	1,019	9,918
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,536	2,182	1,564	△599	5,684
四半期包括利益又は 包括利益	3,986	2,341	230	△832	5,725

当連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (2023年4月～6月)	第2四半期 (2023年7月～9月)	第3四半期 (2023年10月～12月)	伸び率 (%)	
				前年同期(3Q)比	前四半期(2Q)比
売上高	38,914	40,363	42,853	△6.3	6.2
営業利益	704	1,315	2,197	△18.0	67.1
経常利益	2,842	2,105	1,936	26.5	△8.0
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,960	1,437	△1,417	—	—
四半期包括利益又は 包括利益	3,787	2,828	△2,724	—	—